

お問い合わせ先番号 お客さまセンター

総合・料金について (通話料無料)

一般電話からは | au電話からは
☎ 0077-7-111 | 局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR
AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難・故障・操作方法について
(通話料無料)

一般電話からは | au電話からは
☎ 0077-7-113 | 局番なしの113番

上記の番号がご利用にならない場合
下記の番号にお電話ください。(無料)

☎ 0120-977-033 (沖縄を除く地域)
☎ 0120-977-699 (沖縄)



この取扱説明書は植物油インキで印刷しています。



この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
KDDIではこのマークのあるauショップで回収した紙資源を、
製紙会社と協力し国内リサイクル活動を行っています。
本冊子は、その一環として製作されております。



携帯電話・内線事業者は、盗難を保護し、貴
属な資源を再利用するためにお客様が不要と
なってお持ちになる電話機・電池・充電器
を、スマートフォン・メールを返却する auショップ
のあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2011年◆◆月第1版
発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元:シャープ株式会社

IS13SH 取扱説明書 詳細版

au by KDDI

AQUOS PHONE

IS13SH

取扱説明書 詳細版

IS
series

目次

安全上のご注意/防水のご注意

ご利用の準備

基本操作

文字入力

電話

電話帳

メール

インターネット

マルチメディア

ワンセグ

アプリケーション

便利な機能

端末設定

Wi-Fi*/データ通信

auのネットワークサービス

海外利用

付録/索引

簡易英語

簡易中国語

ごあいさつ

このたびは、IS13SHをお買い上げいただき、誠にありがとうございますございました。

ご使用の前に『取扱説明書』または『取扱説明書詳細版』をお読みいただき、正しくお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』を紛失されたときは、auショップもしくはお客様さまセンターまでご連絡ください。

memo

IS13SHに付属する『取扱説明書』では、主な機能の主な操作のみ説明しています。

さまざまな機能のより詳しい説明については、『取扱説明書』アプリケーションや『取扱説明書詳細版』をご参照ください。

取扱説明書アプリケーション

IS13SHでは、au電話本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書』アプリケーションを利用できます。

取扱説明書ダウンロード

『取扱説明書』と『取扱説明書詳細版』のPDFファイルをauホームページからダウンロードできます。

<http://www.au.kddi.com/torisetu/index.html>

- ダウンロードした『取扱説明書』と『取扱説明書詳細版』のPDFファイルをIS13SHで表示するには、Documents To Goの完全版を購入するか、PDFファイルが表示できるアプリケーションをインストールする必要があります。

オンラインマニュアル

auホームページでは、『取扱説明書詳細版』を抜粋のうえ、再構成した検索エンジン形式のマニュアルもご用意しております。

<http://www.au.kddi.com/manual/index.html>

■ For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).

『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページからダウンロードできます(発売約1ヶ月後から)。

Download URL: <http://www.au.kddi.com/torisetu/index.html>

安全上のご注意

IS13SHをご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。

故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客様さまサポートで症状をご確認ください。

<http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html>

au電話をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通話できません。また、電波状態の悪い場所では通話できないこともあります。なお、通話中に電波状態の悪い場所へ移動しますと、通話が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- au電話はデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通話品質を維持し続けます。したがって、通話中この極限を超えてしまうと、突然通話が切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- au電話は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性がないとは言えませんのでご注意ください。(ただし、CDMA方式は通話上の高い秘話機能を備えております。)
- au電話は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 「携帯電話の保守」と「稼働状況の把握」のために、au ICカードを携帯電話に挿入したときにお客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にauに送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が本書をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- IS13SHは国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。詳しくは、「グローバルパスポートご利用ガイド」をご参照ください。

マナーも携帯する

電源を入れておくだけで、携帯電話からは常に弱い電波が出ています。周囲への心配りを忘れずに楽しく安全に使いましょう。

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車運転中の使用は危険なため法律で禁止されています。また、自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内での携帯電話の使用は禁止されています。

■ 使う場所や声の大きさに気をつけて！

映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。

- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

■ 周りの人への配慮も大切！

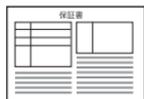
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。携帯電話の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

本体付属品について

すべてそろっているかご確認ください。



本体



保証書



電池パック(SHI13UAA)



microSDメモリカード
(2GB)(試供品)

- お買い上げ時には、あらかじめ本体に取り付けられています。

- 取扱説明書
- ご使用上の注意
- お知らせシート
- 設定ガイド
- じぶん銀行・au損保 サービスガイド
- グローバルパスポートご利用ガイド
- 001国際電話サービス(au国際電話サービス)ご利用ガイド

以下のものは同梱されていません。

- ACアダプタ
- イヤホン
- microUSBケーブル

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

目次

| | |
|-------------------|----|
| ごあいさつ | ii |
| 安全上のご注意 | ii |
| au電話をご利用いただくにあたって | 1 |
| マナーも携帯する | 1 |
| 本体付属品について | 2 |
| 目次 | 3 |

安全上のご注意／防水のご注意

| | |
|---------------------------------------|----|
| 本書の表記方法について | 10 |
| 免責事項について | 11 |
| バケット通信料についてのご注意 | 11 |
| 安全上のご注意 | 12 |
| 取扱上のご留意 | 20 |
| 防水のご注意 | 24 |
| ご利用いただく各種暗証番号について | 27 |
| 各種暗証番号について | 27 |
| プライバシーを守るための機能について | 27 |
| PINコードについて | 27 |
| Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご利用の場合のご留意 | 28 |
| 周波数帯について | 28 |
| Bluetooth®についてのご留意 | 29 |
| 無線LAN(Wi-Fi®)についてのご留意 | 29 |

ご利用の準備

| | |
|---------------|----|
| 各部の名称と機能 | 32 |
| 電池パックを交換する | 34 |
| 電池パックを取り外す | 34 |
| 電池パックを取り付ける | 35 |
| au ICカードを利用する | 35 |
| au ICカードについて | 35 |

| | |
|----------------------|----|
| au ICカードを取り外す | 36 |
| au ICカードを取り付ける | 36 |
| microSDメモ리카ードを利用する | 37 |
| microSDメモ리카ードについて | 37 |
| microSDメモ리카ードを取り外す | 38 |
| microSDメモ리카ードをセットする | 38 |
| 電池パックを充電する | 39 |
| 電源を入れる／切る | 41 |
| 電源を入れる | 41 |
| 電源を切る | 41 |
| 再起動する | 41 |
| スリープモードについて | 41 |
| 初期設定を行う | 42 |
| Googleアカウントをセットアップする | 42 |

基本操作

| | |
|-----------------------------|----|
| タッチパネル | 44 |
| タッチパネルの使いかた | 44 |
| タッチチャーの使いかた | 45 |
| 画面の見かた | 45 |
| ホーム画面を利用する | 45 |
| ホーム画面の見かた | 45 |
| ホーム画面のメニューを利用する | 46 |
| デスクトップを編集する | 46 |
| ショートカット／ウィジェット／フォルダを移動／削除する | 48 |
| ホーム画面を切り替える | 48 |
| ランチャーを利用する | 49 |
| ランチャーについて | 49 |
| ランチャーのメニューを利用する | 52 |
| ランチャーを編集する | 53 |
| ランチャー／デスクトップを一覧表示する | 53 |
| ステータスバーを利用する | 54 |
| アイコンについて | 54 |
| お知らせ／ステータスパネルを利用する | 55 |
| ディスプレイ(サブエリア)の見かた | 56 |
| 起動中のアプリケーションを一覧表示する | 57 |
| 共通の操作を覚える | 57 |

| | |
|----------------|----|
| 縦横表示を切り替える | 57 |
| 利用できるメニューを表示する | 58 |
| ロックを解除する | 59 |
| チェックボックスを利用する | 59 |

文字入力

| | |
|-----------------------------|----|
| ソフトウェアキーボードを切り替える | 62 |
| 文字入力画面の見かた | 62 |
| 文字の入力方法 | 64 |
| 文字を入力する | 64 |
| 入力する文字種を切り替える | 64 |
| 絵文字／D絵文字／記号／顔文字を入力する | 65 |
| 区点コードで入力する | 65 |
| 音声で入力する | 66 |
| 手書きで入力する | 66 |
| 文字サイズを切り替える | 67 |
| 文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける | 67 |
| 文字入力について設定する | 67 |
| iWnn IME - SH editionの設定を行う | 67 |
| ユーザー辞書に登録する | 68 |
| マッシュルーム拡張機能を利用する | 69 |
| 入力ソフトを切り替える | 69 |

電話

| | |
|-----------------------|----|
| 電話をかける | 72 |
| 電話番号を入力して電話をかける | 72 |
| 電話番号入力画面のメニューを利用する | 73 |
| 通話中画面のメニューを利用する | 73 |
| 電話を受ける | 74 |
| かかってきた電話に出る | 74 |
| 応答を保留する | 74 |
| 着信中のメニューを利用する | 75 |
| 発信履歴／着信履歴を利用して電話をかける | 75 |
| 国際電話を利用する(au国際電話サービス) | 77 |

電話帳

| | |
|----------|----|
| 電話帳に登録する | 80 |
|----------|----|

| | |
|----------------------|----|
| グループを設定する | 81 |
| 電話帳の一覧を利用する | 81 |
| 電話帳一覧画面の見かた | 81 |
| 連絡先を統合する | 82 |
| 電話帳一覧画面のメニューを利用する | 82 |
| 電話帳の登録内容を利用する | 84 |
| 電話帳詳細画面の見かた | 84 |
| 電話番号を利用する | 85 |
| メールアドレスを利用する | 85 |
| チャットアドレスを利用する | 85 |
| 住所を利用する | 86 |
| GPS情報を利用する | 86 |
| インターネット通話用のアドレスを利用する | 86 |
| 名前をブラウザで検索する | 86 |
| 電話帳詳細画面のメニューを利用する | 86 |
| メッセージバックを利用する | 86 |

メール.....89

| | |
|-------------------------------|-----|
| Eメール/Cメール | 90 |
| Eメール/Cメールについて | 90 |
| Eメールを送る | 90 |
| Eメール作成画面でできること | 92 |
| Eメールにデータを添付する | 92 |
| Eメールの本文を装飾する | 92 |
| Eメール作成画面のメニューを利用する | 93 |
| Cメールを送る | 94 |
| Eメール/Cメールを受け取る | 96 |
| Eメール/Cメールを確認する | 96 |
| Eメール/Cメールのフォルダ一覧画面で できること | 98 |
| フォルダ一覧画面のメニューを利用する | 98 |
| フォルダに振り分け条件を登録する | 99 |
| メールを検索する | 100 |
| Eメール/Cメールのメールボックス画面で できること | 101 |
| メールボックス画面のメニューを利用する | 101 |
| アドレス詳細表示を利用する | 104 |

| | |
|----------------------------------|-----|
| Eメール/Cメール内容表示画面でできること | 104 |
| メール内容表示画面の操作 | 104 |
| 差出人/宛先/メールアドレス/電話番号/URL を利用する | 105 |
| Eメールの添付ファイルを受信・再生・保存する | 105 |
| メール内容表示画面のメニューを利用する | 106 |
| Eメール/Cメールの設定を行う | 107 |
| メールの共通設定を行う | 107 |
| Eメールを設定する | 107 |
| アドレスを変更する | 108 |
| 迷惑メールフィルターを設定する | 109 |
| 転送先を設定する | 110 |
| Cメールを設定する | 111 |
| 受信フィルターを設定する | 111 |
| メールグループを設定する | 112 |
| メール容量を確認する | 112 |
| Cメール安心ブロック機能を設定する | 113 |

| | |
|------------------|-----|
| PCメール | 113 |
| PCメールのアカウントを設定する | 113 |
| アカウントを登録する | 113 |
| アカウントの設定を変更する | 115 |
| PCメールを送る | 115 |
| PCメールを受け取る | 116 |
| PCメールの各画面でできること | 116 |
| PCメール画面について | 116 |
| PCメールボックス画面について | 117 |
| PCメール一覧画面について | 118 |
| PCメール内容表示画面について | 119 |

| | |
|-----------------|-----|
| au one メール | 120 |
| au one メールについて | 120 |
| 会員登録する | 120 |
| au one メールを確認する | 121 |

| | |
|------------|-----|
| Gmail | 121 |
| Gmailについて | 121 |
| Gmailを送る | 122 |
| Gmailを受け取る | 122 |

インターネット.....123

| | |
|-----------------------|-----|
| インターネット接続について | 124 |
| インターネットに接続する | 124 |
| データ通信サービスを利用する | 124 |
| ブラウザ | 125 |
| サイトを表示する | 125 |
| ブラウザを起動する | 125 |
| URL表示欄を利用する | 125 |
| ブラウザ画面のメニューを利用する | 125 |
| ブックマーク/履歴を利用する | 126 |
| ブックマーク/履歴からサイトを表示する | 126 |
| ブックマークに登録する | 127 |
| ブックマーク/履歴画面のメニューを利用する | 127 |
| ブラウザを設定する | 128 |

マルチメディア.....129

| | |
|-------------------------------------|-----|
| カメラを利用する | 130 |
| このカメラでできること | 130 |
| カメラをご利用になる前に | 131 |
| フォトを撮影する | 132 |
| ムービーを録画する | 134 |
| カメラの機能を利用する | 135 |
| フォーカスを設定する | 135 |
| カメラを設定する | 136 |
| ビデオカメラを設定する | 137 |
| 連続してフォトを撮影する | 138 |
| 人物の顔を登録して活用する | 138 |
| 読取カメラを利用する | 139 |
| バーコードリーダーでバーコードを読み取る | 139 |
| 名刺リーダーで名刺を読み取る | 140 |
| ラクラク瞬漢/瞬英ルーペで漢字や英単語の 読みかたや意味を調べる | 140 |
| テキストリーダーで文字を読み取る | 141 |
| お店情報リーダーで情報を読み取る | 141 |

| | | | | | |
|-------------------------|------------|---------------------------------------|------------|--|------------|
| 読取カメラのメニューを利用する | 142 | Latitudeに参加する | 166 | リモートサポートを利用する | 182 |
| データを確認する | 143 | 友人を招待する | 166 | ウィルスバスター™モバイル for auを 利用する | 182 |
| ピクチャーを利用する | 143 | 招待に応じる | 166 | アプリケーションを制限する | 182 |
| データを表示/再生する | 143 | チェックインをする | 167 | | |
| データを振り分ける | 144 | 友人の位置情報を確認する | 167 | 便利な機能 | 183 |
| ピクチャーのメニューを利用する | 144 | Google Latitudeを設定する | 167 | モバイルライトを利用する | 184 |
| ギャラリーを利用する | 146 | Google トークを利用する | 168 | スクリーンショットを撮影する | 184 |
| データを表示/再生する | 146 | Google トークに参加する | 168 | エコ技設定を利用する | 184 |
| ギャラリーのメニューを利用する | 146 | ステータスを編集する | 169 | フォントマネージャーを利用する | 186 |
| コンテンツマネージャーを利用する | 147 | 友だちを管理する | 169 | クイック検索ボックスを利用する | 187 |
| データを表示/再生する | 147 | Google トークを設定する | 170 | キーワードを入力して検索する | 187 |
| コンテンツ表示画面のメニューを利用する | 148 | Google トークを終了する | 170 | Google 音声検索を利用する | 187 |
| LISMO Playerを利用する | 150 | Google プレイスを利用する | 170 | クイック検索ボックスを設定する | 187 |
| | | Google ナビを利用する | 171 | 画像を編集する | 188 |
| ワンセグ | 151 | YouTubeを利用する | 171 | 動画を編集する | 188 |
| ワンセグでできること | 152 | ダウンロードを利用する | 171 | おサイフケータイ®を利用する | 189 |
| ワンセグをご利用になる前に | 152 | mixiSHを利用する | 172 | おサイフケータイ®ご利用にあたって | 189 |
| テレビアンテナについて | 152 | Twitterを利用する | 172 | おサイフケータイ®のサービスを利用する | 190 |
| ワンセグの初期設定をする | 153 | Facebookを利用する | 172 | リーダー/ライターとやりとりする | 190 |
| ワンセグを見る | 153 | au one Friends Noteを利用する | 173 | おサイフケータイ®の機能をロックする | 191 |
| ワンセグ視聴画面の見かた | 153 | Skype™ auを利用する | 173 | ボイスレコーダーを利用する | 191 |
| BGM再生する | 154 | ニュースと天気を利用する | 174 | 録音する | 191 |
| ワンセグ視聴画面のメニューを利用する | 154 | au one ニュースEXを利用する | 175 | 再生する | 192 |
| 番組情報を利用する | 155 | 緊急地震速報を利用する | 176 | メモ帳を利用する | 192 |
| エリアを切り替える | 156 | 緊急地震速報を確認する | 176 | メモ帳を登録する | 192 |
| 画面サイズや映像・サウンドを設定する | 156 | 緊急地震速報を削除/設定する | 177 | メモ帳を確認する | 192 |
| データ放送を見る | 157 | 災害用伝言板を利用する | 177 | カレンダーを利用する | 193 |
| テレビリンクを利用する | 157 | メーカーアプリを利用する | 177 | カレンダーを表示する | 193 |
| テレビ番組を録画する | 158 | GALAPAGOS App for Smartphoneを 利用する | 177 | 予定を新規登録する | 194 |
| 番組表を利用する | 158 | Documents To Goを利用する | 178 | 予定を確認/編集する | 194 |
| テレビ番組を視聴予約/録画予約する | 159 | Androidマーケットを利用する | 179 | カレンダー画面のメニューを利用する | 194 |
| 録画したテレビ番組を再生する | 160 | au one Marketを利用する | 180 | 世界時計/アラーム/ストップウォッチ/ タイマーを利用する | 195 |
| ワンセグの設定をする | 163 | au one モバオクを利用する | 180 | 世界各地の都市の時刻を確認する | 195 |
| | | ショッピングモールを利用する | 180 | アラームで指定した時刻をお知らせする | 196 |
| アプリケーション | 165 | GREEマーケットを利用する | 181 | ストップウォッチで時間を計る | 197 |
| Google マップを利用する | 166 | 安心セキュリティバックを利用する | 181 | タイマーで時間を計る | 197 |
| Google Latitudeを利用する | 166 | 安心セキュリティバックでできること | 181 | 歩数計を利用する | 197 |
| | | 3LM Securityを利用する | 181 | | |

| | |
|-----------------------------|-----|
| 方位計を利用する | 199 |
| 方位計をご利用になる前に | 199 |
| 方位計を表示する | 200 |
| 電卓で計算する | 200 |
| 辞書を利用する | 201 |
| 辞書で検索する | 201 |
| 単語テストをする | 202 |
| パソコンと接続する | 202 |
| USB接続モードを設定する | 202 |
| メモリーカードリーダー/ライターとして使う | 203 |
| MTPモードでパソコンからデータを転送する | 204 |
| microSDメモリーカードの内容をパソコンで表示する | 204 |
| ブルーレイディスクレコーダーと接続する | 206 |
| Smart Familinkを利用する | 206 |

端末設定 209

| | |
|-------------------|-----|
| 設定項目一覧 | 210 |
| プロフィールを設定する | 210 |
| プロフィールを確認する | 210 |
| プロフィールを編集する | 211 |
| 省エネ設定をする | 212 |
| 無線とネットワークの設定をする | 212 |
| 通話に関する設定をする | 213 |
| 通話設定をする | 213 |
| 伝言メモ/音声メモを再生する | 214 |
| 着信を拒否する | 215 |
| 音・バイブレーションの設定をする | 215 |
| 画面設定をする | 216 |
| 位置情報とセキュリティの設定をする | 217 |
| アプリケーションの設定をする | 218 |
| アカウントと同期に関する設定をする | 219 |
| アカウントと同期の設定をする | 219 |
| 手動で同期する | 219 |
| アカウントを追加する | 219 |
| アカウントを削除する | 219 |
| IS13SHをリセットする | 220 |

| | |
|------------------------------|-----|
| microSDメモリーカードと端末容量に関する設定をする | 220 |
| microSDメモリーカードと端末容量の設定をする | 220 |
| 本体メモリー内のデータをバックアップする | 220 |
| microSDメモリーカードを初期化する | 222 |
| 使用する言語やソフトウェアキーボードの設定をする | 222 |
| 音声入出力の設定をする | 223 |
| ユーザー補助の設定をする | 224 |
| au one-ID設定をする | 224 |
| 歩数計設定をする | 224 |
| 日付と時刻の設定をする | 224 |
| 端末情報に関する設定をする | 225 |
| 端末情報の設定をする | 225 |
| OTAアップデート(ソフトウェアの更新)をする | 225 |
| メジャーアップデート(OSの更新)をする | 227 |
| 初期設定を行う | 227 |

Wi-Fi®/データ通信 229

| | |
|---------------------------|-----|
| Wi-Fi® | 230 |
| Wi-Fi®について | 230 |
| Wi-Fi®を利用する | 230 |
| Wi-Fi®を起動する | 230 |
| アクセスポイントに接続する | 230 |
| アクセスポイントとの接続を切る | 231 |
| Wi-Fi®設定画面のメニューを利用する | 231 |
| アクセスポイントを登録する | 231 |
| アクセスポイントを自動で登録する | 231 |
| アクセスポイントを手動で登録する | 231 |
| 公衆無線LANのアクセスポイントに自動ログインする | 232 |
| ネットワーク通知を設定する | 232 |
| 接続を一時停止するタイミングを設定する | 232 |
| 赤外線通信 | 233 |
| 赤外線の利用について | 233 |
| データの送受信について | 233 |

| | |
|-----------------------|-----|
| 赤外線データを送受信する | 234 |
| 赤外線データを送信する | 234 |
| 各機能のメニューから赤外線送信する | 234 |
| 赤外線データを受信する | 235 |
| IC通信 | 235 |
| IC通信の利用について | 235 |
| IC通信データを送受信する | 236 |
| IC通信データを送信する | 236 |
| IC通信データを受信する | 236 |
| Bluetooth®機能 | 237 |
| Bluetooth®機能の利用について | 237 |
| Bluetooth®機能でできること | 237 |
| 主な仕様 | 238 |
| Bluetooth®機能の関連用語について | 238 |
| Bluetooth®を利用する | 239 |
| Bluetooth®を起動する | 239 |
| Bluetooth®機器と接続する | 239 |
| Bluetooth®でデータを送受信する | 240 |
| Bluetooth®でデータを送信する | 240 |
| Bluetooth®でデータを受信する | 241 |
| Bluetooth®機能の設定をする | 241 |

auのネットワークサービス 243

| | |
|------------------------|-----|
| auのネットワークサービスについて | 244 |
| お留守番サービスを利用する(標準サービス) | 244 |
| お留守番サービスについて | 244 |
| お留守番サービス総合案内(141)を利用する | 245 |
| お留守番サービスを開始する | 245 |
| お留守番サービスを停止する | 245 |
| 電話をかけてきた方が伝言を録音する | 246 |
| ボイスメールを録音する | 246 |
| お留守番着信お知らせについて | 246 |
| 伝言・ボイスメールを聞く | 247 |
| 応答メッセージの録音/確認/変更をする | 248 |
| 伝言の蓄積を停止する(不在通知) | 248 |
| 蓄積停止を解除する | 248 |

| | |
|--|-----|
| お留守番サービスを遠隔操作する (遠隔操作サービス) | 249 |
| 日本語／英語ガイダンスを切り替える | 249 |
| 着信転送サービスを利用する | |
| (標準サービス) | 250 |
| 着信転送サービスについて | 250 |
| 応答できない電話を転送する(無応答転送) | 250 |
| 通話中にかかってきた電話を転送する (話中転送) | 251 |
| かかってきたすべての電話を転送する (フル転送) | 251 |
| 手動で転送する(選択転送) | 251 |
| 海外の電話へ転送する | 251 |
| 着信転送サービスを停止する(転送停止) | 252 |
| 着信転送サービスを遠隔操作する (遠隔操作サービス) | 252 |
| 割込通話サービスを利用する | |
| (標準サービス) | 253 |
| 割込通話サービスについて | 253 |
| 割込通話サービスを開始する | 253 |
| 割込通話サービスを停止する | 253 |
| 割込通話を受ける | 253 |
| 割り込みされたくないときは | 254 |
| 発信番号表示サービスを利用する | |
| (標準サービス) | 254 |
| 番号通知リクエストサービスを利用する | |
| (標準サービス) | 255 |
| 番号通知リクエストサービスについて | 255 |
| 番号通知リクエストサービスを開始する | 255 |
| 番号通知リクエストサービスを停止する | 255 |
| 三者通話サービスを利用する | |
| (オプションサービス) | 256 |
| 迷惑電話撃退サービスを利用する | |
| (オプションサービス) | 256 |
| 迷惑電話撃退サービスについて | 256 |
| 最後に着信した電話番号を受信拒否リストに 登録する | 257 |
| 最後に登録した電話番号を受信拒否リストから 削除する | 257 |
| 受信拒否リストに登録した電話番号を 全件削除する | 257 |
| 通話明細分計サービスを利用する (オプションサービス) | 258 |
| 海外利用 | 259 |
| グローバルパスポートCDMA | 260 |
| 海外で安心してご利用いただくために | 260 |
| 海外利用に関する設定を行う | 260 |
| PRL(ローミングエリア情報)を取得する | 260 |
| エリアを設定する | 261 |
| データローミングを設定する | 261 |
| 渡航先で電話をかける | 261 |
| 渡航先から国外(日本含む)に電話をかける | 261 |
| 渡航先の国内に電話をかける | 262 |
| 渡航先で電話を受ける | 262 |
| グローバルパスポートGSM | 263 |
| GLOBAL PASSPORT GSM(グローバルパス ポートGSM)について | 263 |
| 付録・索引 | 265 |
| 付録 | 266 |
| 周辺機器のご紹介 | 266 |
| 故障とお考えになる前に | 267 |
| アフターサービスについて | 269 |
| 利用できるデータの種類 | 271 |
| 主な仕様 | 272 |
| 携帯電話機の比吸収率(SAR)について | 274 |
| 輸出管理規制 | 275 |
| Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約書 | 275 |
| 知的財産権について | 276 |
| Safety Information | 279 |
| CE Declaration of Conformity | 279 |
| FCC Notice | 281 |
| 索引 | 282 |

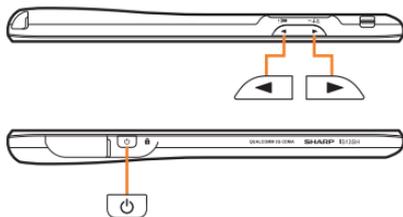
安全上のご注意／防水のご注意

| | |
|--|----|
| 本書の表記方法について..... | 10 |
| 免責事項について..... | 11 |
| パケット通信料についてのご注意..... | 11 |
| 安全上のご注意..... | 12 |
| 取扱上のお願ひ..... | 20 |
| 防水のご注意..... | 24 |
| ご利用いただく各種暗証番号について..... | 27 |
| Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願ひ..... | 28 |

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化していますので、あらかじめご了承ください。



■ 項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

| 表記 | 意味 |
|---------------------------------------|---|
| ホーム画面→[📶] →[電話]→[1][4] [1]→[発信] | ホーム画面下部の「📶」をタップし、ランチャーで「電話」をタップします。続けて「1」「4」「1」の順にタップして、最後に「発信」をタップします。 |
| スリープモード中に [🔘] | スリープモード中に[🔘]を押します。 |

memo

- 本書では本体カラー「Airy Pink」の表示を例に説明しています。あらかじめご了承ください。
- 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。
- 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- 本書では、ロック解除の方法をロックNo.を入力する方法で表記しています。
- 本書では「microSD™メモ리카ード」および「microSDHC™メモ리카ード」の名称を、「microSDメモ리카ード」もしくは「microSD」と省略しています。

■ 掲載されている画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。



本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。

免責事項について

- ◎ 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。
- ◎ 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障がいの原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ Androidマーケット／au one Market／アプリケーションについて

- ◎ アプリケーションのインストールは安全であることをご確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- ◎ 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ◎ お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様本人または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- ◎ IS13SHに搭載されているアプリケーションやインストールされているアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

パケット通信料についてのご注意

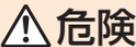
- ◎ IS13SHは常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料割引サービスへのご加入をおすすめします。
- ◎ IS13SHでのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。（「auからの重要なお知らせメール」、「WEB de 請求書お知らせメール」などのEメール受信も有料となります。）また、プランEシンプル／プランEにご加入された場合であっても、Eメール（XXX@ezweb.ne.jp）の送受信は無料にはならず、パケット通信料が発生します。（「Eメール（XXX@ezweb.ne.jp）」をご利用いただくにはIS NETへのご加入が必要です。）

※Wi-Fi*接続の場合、パケット通信料はかかりません。（Eメール（XXX@ezweb.ne.jp）はWi-Fi*接続でのご利用はできません。）

安全上のご注意

■安全にお使いいただくために必ずお読みください。

- この「安全上のご注意」には、IS13SHを使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

| | |
|--|---|
|  | この表示は「人が死亡または重傷*1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。 |
|  | この表示は「人が死亡または重傷*1を負う可能性が想定される内容」を示しています。 |
|  | この表示は「人が傷害*2を負う可能性が想定される内容や物的損害*3の発生が想定される内容」を示しています。 |

*1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

*2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

*3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

- 図記号の意味は以下のとおりです。

| | |
|---|--|
|  | 禁止(してはいけないこと)を示す記号です。 |
|  | 分解してはいけないことを示す記号です。 |
|  | 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。 |

| | |
|---|-----------------------------------|
|  | 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。 |
|  | 指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。 |
|  | 電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。 |

■IS13SH本体、電池パック、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

危険

必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。



指示

IS13SHに使用する電池パック、充電用機器、microUSBケーブルや変換アダプタ、イヤホン関連機器は必ず指定の周辺機器をご使用ください。発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。



禁止

高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下など)での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にIS13SHの電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態で使用してください。(おサイフケータイ®の機能をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。)



禁止

電子レンジや高圧容器などの中に入れてください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。



火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。



外部接続端子やイヤホン端子をショートさせないでください。また、外部接続端子やイヤホン端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。



指定のACアダプタ(別売)をコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。



カメラのレンズに直射日光などをあてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。



警告

必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。



屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。



分解禁止

IS13SHはソフトウェアも含め、お客様による分解・改造・変更・修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などによりIS13SHまたはソフトウェアなどに不具合が生じてもKDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では一切の責任を負いかねます。携帯電話の改造は電波法違反になります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。



IS13SHが落下などによって破損し、電話機内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをすることがあります。auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。



水濡れ禁止

IS13SHは防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体が外部接続端子カバー、電池パックカバーなどからIS13SH本体内部に入った場合には、使用をおやめください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。



水濡れ禁止

IS13SH本体が濡れている状態で充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる故障・火災の原因となります。水濡れ時の充電による故障は、保証の対象外となり、修理ができません。



指示

外部接続端子やイヤホン端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。



注意

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

直射日光のあたる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。パイプレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。



禁止

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。小さな部品や電池パック・au ICカード・microSDメモリカードの誤飲で窒息するなど、事故や傷害などの原因となる場合があります。また、テレビアンテナの取り扱いにもご注意ください。



指示

金属製のストラップやアクセサリを使用されている場合は、充電の際に電池パックの接続端子、特にコンセントなどに触れないように十分注意してください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。



指示

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたら使用を中止してください。異常が起きた場合、充電中であれば、指定の充電用機器(別売)をコンセントまたはシガーライターソケットから抜き、熱くないことを確認してください。その後IS13SHの電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。また、落下などにより破損した場合などもそのまま使用せず、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。



禁止

外部から電源が供給されている状態のIS13SH本体・電池パック・指定の充電用機器(別売)に、長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



禁止

電池パックカバーを取り外すときは、先の細いものを差し込まないようにしてください。電池パックカバーが破損・変形して、浸水による故障の原因となります。



禁止

電池パックカバーを外したまま使用しないでください。



禁止

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。



禁止

IS13SH本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器(別売)をつながないでください。発火・感電の原因となります。

■ IS13SH本体について



警告

必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。



指示

航空機内では電源をお切りください。IS13SHの電波により、電子機器に影響を及ぼし、運航の安全に支障をきたすおそれがあります。機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従って、ご使用ください。IS13SHとパソコンをmicroUSBケーブル01(別売)で接続すると、IS13SHの電源が自動的に入りますので、航空機内では接続しないでください。



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器のお近くで携帯電話を使用される場合は、電波によりこれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをご守りください。

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話を心臓ペースメーカーなどの装着部から22cm以上離して携行および使用してください。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、携帯電話の電源を切るよう心がけてください。
- 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
 - 手術室・集中治療室(ICU)・冠状動脈疾患監視病室(CCU)には携帯電話を持ち込まないでください。
 - 病棟内では、携帯電話の電源をお切りください。IS13SHとパソコンをmicroUSBケーブル01(別売)で接続すると、IS13SHの電源が自動的に入りますので、病棟内では接続しないでください。
 - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、携帯電話の電源をお切りください。
 - 医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。



指示

高精度な電子機器の近くではIS13SHの電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例:心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)



禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。視力障がいの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

注意事項:

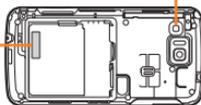
当製品に使用されているモバイルライト光源LEDは、指定されていない調整などの操作を意図的に行った場合、眼の安全性を超える光量を放出する可能性がありますので分解しないでください。

EN60825-1:1994 A1:2002 & A2:2001



モバイルライト

CAUTION-CLASS 1M
LED RADIATION WHEN OPEN
DO NOT VIEW DIRECTLY WITH
OPTICAL INSTRUMENTS



禁止

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。



指示

ごくまれに強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に必ず医師と相談してください。



指示

通話・メール・撮影・ゲーム・インターネットなどをするとときや、テレビ(ワンセグ)を見たり、音楽を聴くときは周囲の安全を確認してください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。



禁止

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信をしないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると、誤動作などの影響を与えることがあります。



注意

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



分解禁止

改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。au電話は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技術マーク」がau電話本体の銘板シールに表示されております。au電話本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。



禁止

イヤホン(市販品)やハンドストラップ、テレビアンテナなどを持ってIS13SH本体を振り回さないでください。けがなどの事故、故障や破損の原因になることがあります。また、ヒモが傷ついているなど、傷んだハンドストラップは使用しないでください。



禁止

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。



禁止

夏季に閉めきった自動車内に放置するなど、極端な高温になる環境には置かないようにしてください。IS13SHが熱くなり、やけどの原因となることがあります。また、電池の容量が低下しご利用できる時間が短くなったり、IS13SH本体が変形し故障の原因となる場合があります。



指示

長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。



指示

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

IS13SHで使用している各部品の材質は次の通りです。

| 使用箇所 | 使用材質 | 表面処理 |
|------------------|--------------------------|---------------|
| 外装ケース(ディスプレイ枠部) | PA樹脂 | アクリル系UV硬化処理 |
| 受話口 | アクリル樹脂 | ハードコート処理 |
| 外装ケース(側面) | PA樹脂 | アクリル系UV硬化処理 |
| 電池バックカバー | PC樹脂 | アクリル系UV硬化処理 |
| 外部接続端子カバー | PC樹脂 エラストマー樹脂 | アクリル系UV硬化処理 |
| イヤホン端子 | PA樹脂 | なし |
| イヤホン端子飾り | PC樹脂 | アクリル系UV硬化処理 |
| ハンドストラップ取付口 | SUS | ニッケルメッキ |
| テレビアンテナ | PA樹脂 SUS ニッケルチタン合金 | なし |
| 電源キー | PC樹脂 | アクリル系UV硬化処理 |
| 音量UP/DOWNキー | PC樹脂 | アクリル系UV硬化処理 |
| ディスプレイ | 強化ガラス | アクリル系ハードコート処理 |
| モバイルライトレンズ | ABS樹脂 | なし |
| カメラレンズ/赤外線ポートカバー | アクリル樹脂 | ハードコート処理 |



人の混雑している場所では使用しないでください。携帯電話が人あたり、思わぬけがをすることがあります。



キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなど磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。



外部接続端子やイヤホン端子に液体・金属片・燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、通常は外部接続端子カバーを開けたままにしないでください。ほこり・水などが入り、故障の原因となります。



心臓の弱い方はバイブレータ(振動)や音量の設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。



受話口部やスピーカ一部吸着物にご注意ください。これら箇所には磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキスの針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、受話口部などに異物がないかを必ず確かめてください。



テレビアンテナを伸ばした状態でIS13SHを振り回さないでください。傷害やテレビアンテナの変形・破損の原因となります。



テレビ(ワンセグ)視聴時以外ではテレビアンテナを格納してください。テレビアンテナを引き出したままでは通話などをすると顔などにあたり、思わぬけがの原因となります。



テレビ(ワンセグ)視聴中は、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。IS13SH本体一部が温かくなり、火災・やけど・故障の原因となります。



ボールペンや鉛筆など先の尖ったものでタッチパネル操作を行わないでください。ディスプレイの破損の原因となります。



爪の先でタッチパネル操作を行わないでください。爪が割れるなど、けがの原因となります。

■ 電池パックについて

IS13SHの電池パックはリチウムイオン電池です。

電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。



Li-ion00



危険

誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂などのおそれがあり危険です。必ず下記の危険事項をよくお読みになってからご使用ください。



禁止

電池パックのプラス(+)とマイナス(-)をショートさせないでください。



指示

電池パックをIS13SH本体に接続するときは正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理をせず、接続部を十分に確認してから接続してください。



禁止

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。



分解禁止

お客様による分解・改造・修理やハンダ付けはしないでください。また、外装シールをはがさないでください。電池内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故や、発熱・発火・破裂の原因となります。



禁止

落としたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。



禁止

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片(ネックレスやヘアピン)などを接続端子に触れさせないでください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。



指示

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は傷害を起こすおそれがあるので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。



指示

電池パックをIS13SH本体から取り外すときは、PULLタブまたは突起部を持ち、上方へ持ち上げて外してください。ペンなどの先の細いものを差し込んで外そうとした場合、発火や破損の原因となります。



警告

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



水濡れ禁止

電池パックは防水性能を有しておりません。電池パックに水などを直接かけたり、水や海水、ペットの尿などで濡らさないでください。また、濡れた電池パックは充電しないでください。電池パックが濡れると発熱・破損・発火の原因となります。



指示

ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。



指示

漏液したり異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液体に引火し、発火・破裂の原因となります。



指示

電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

■ 充電用機器について



警告

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。



禁止

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。

- 共通ACアダプタ01 (別売) : AC100V (日本国内家庭用) 単相200Vでの充電あるいは海外旅行用変圧器を使用しての充電を行わないでください。
- 上記以外の海外で充電可能なACアダプタ (別売) : AC100V～240V
- DCアダプタ (別売) : DC12V・24V (マイナスアース専用)



指示

指定の充電用機器 (別売) の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定の充電用機器 (別売) が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。



指示

共通DCアダプタ01 / 03 (別売) はヒューズを使用しています。ヒューズが切れた場合は必ず指定のヒューズ (定格250V 1A) と交換してください。発熱・発火の原因となります。ヒューズの交換は、共通DCアダプタ01 / 03 (別売) の取扱説明書をよくご確認ください。



禁止

指定の充電用機器 (別売) の電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電などの原因となります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときには、指定の充電用機器 (別売) の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電やショートの原因となります。また、指定の充電用機器 (別売) の電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。



指示

車載機器などは、運転操作やエアバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。



水濡れ禁止

指定の充電用機器 (別売) は防水性能を有していません。水やベットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障などの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグを抜いてください。



濡れ手禁止

濡れた手で指定の充電用機器 (別売) を抜き差ししないでください。感電・故障の原因となります。



指示

充電端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。



プラグをコンセントから抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。



注意

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。



指示

充電は安定した場所で行ってください。傾いた場所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にパイプレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災や故障の原因となります。



水濡れ禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。



水濡れ禁止

風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。感電や故障の原因となります。



指示

指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライターソケットから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。



禁止

共通DCアダプタ01/O3(別売)は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消費の原因となります。



禁止

IS13SH本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器(別売)を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

■ au ICカードについて



注意

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



指示

au ICカードをIS13SHに取り付け・取り外しをするときは、手や指を傷つけないようご注意ください。



指示

au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。



分解禁止

au ICカードを分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。



禁止

au ICカードを電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れてください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。



禁止

au ICカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。



禁止

au ICカードを火の中に入れてたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。



禁止

au ICカードのIC(金属)部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。内部データの消失・故障の原因となります。



禁止

au ICカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。



禁止

au ICカードを折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。



水濡れ禁止

au ICカードを濡らさないでください。水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。



禁止

au ICカードのIC(金属)部分を傷つけないでください。故障の原因となります。



禁止

au ICカードはほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。



禁止

au ICカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。



指示

au ICカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤飲で窒息したり、傷害などの原因となります。

取扱上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ IS13SH本体、電池パック、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

- 無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、スポンジやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重い物の下になつたりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- IS13SHは、外部接続端子カバー、電池パックカバーをしっかりと閉じた状態でIPX5(旧JIS保護等級5級)相当、IPX7(旧JIS保護等級7級)相当の防水性能を有しておりますが、完全防水というわけではありません。雨の中や水滴が付いたままの電池パックの取り付け/取り外しや、外部接続端子カバー、電池パックカバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。また、付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。周囲温度5℃～35℃、周囲湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。調査の結果、極端な温度・湿度条件下での使用による故障と判明した場合は、保証の対象外となり、修理ができません。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 外部接続端子やイヤホン端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、掃除の際は強い力を加えて端子を変形させないでください。
- 汚れた場合は柔らかな布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中や通話中、カメラ機能動作中、テレビ(ワンセグ)視聴中など、ご使用状況によってはIS13SH本体が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 使用中、IS13SHが高温となった場合、IS13SH本体保護のため一時的に画面の明るさを下げたり、一部機能を停止することがあります。

- 電池パックはIS13SHの電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- お子様をご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご確認ください。けがなどの原因となります。

■ IS13SH本体について

- 充電中や通話中、カメラ機能動作中、テレビ(ワンセグ)視聴中は、ご使用状況によってはIS13SH本体の一部が温かくなりますので、手や顔などが触れる場合はご注意ください。
- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。
- ディスプレイやキーの表面を爪や硬い物などで強く押しつけないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- ディスプレイが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- IS13SH本体(電池パックを取り外した背面)に貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様のIS13SHが電波法および電気通信事業法により許可されたものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 電池パックカバー裏に貼ってあるシールは、はがさないでください。シールをはがすと、FeliCaの読み書きができなくなる場合があります。
- IS13SHに登録された電話帳・メール・ブックマーク・お客様が作成、保存されたデータなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一、内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- IS13SHに保存されたメールやダウンロードしたデータ(有料・無料は問わない)などは、機種変更・故障修理などによるau電話の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- IS13SHはディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。

- IS13SHで使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られています。一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼ると、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、IS13SH本体が損傷するおそれがあります。
- テレビ(ワンセグ)視聴中など、テレビアンテナを伸ばしたり、立てた状態で電話に出る場合は、特にテレビアンテナの先端部分が周囲の方々へ危害など及ぼさないよう、またお客様の目に入らないよう取り扱いには十分ご注意ください。
- フォト撮影でフォトモニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、カメラ機能・テレビ(ワンセグ)視聴を繰り返し長時間連続動作させた場合、IS13SH本体の一部が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 受話音声を聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口(音声穴)が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- IS13SHに磁気を帯びたものや金属製のストラップなどを近づけるとスピーカーから音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- IS13SHを永久磁石(磁気ネックレス・バッグの留め金など)/家庭電化製品(テレビ、スピーカーなど)の強い磁気を帯びたものに近付けないでください。IS13SHそのものが磁気を帯びたとき(着磁または帯磁と呼びます)は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所、温度が急激に変化するような場所で使用された場合、IS13SH内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、明るさを自動調整する設定にしても、周囲の明暗に光センサーが反応できず、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。

- IS13SHは、盗難・紛失時の不正利用防止のため、お客様のau ICカード以外ではご利用できないようロックがかけられております。ご利用になる方が変更される場合には、新しくご利用になる方が、このau ICカードをご持参のうえ、au ショップ・PiPiitにご来店ください。なお、変更処理は有償となります。
- 外部接続端子やイヤホン端子に外部機器を接続するときは、microUSBプラグやイヤホンプラグを斜めに差し込まないようにしてください。故障や破損の原因となります。
- 外部接続端子やイヤホン端子に機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 外部接続端子カバーを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 撮影などしたフォト/ムービーデータや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、「著作権が有効なデータ」など上記の手段でも控えができないものもありますのであらかじめご了承ください。
- IS13SHは不法改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 自動車などの運転中に使用しないでください。ハンズフリーキットなどを使用した通話以外の機能(メール、カメラなど)の使用は交通事故の原因となり、法律で禁止されています。
- ポケットやかばんなどに入れる際は、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材を使用しているストラップは、ディスプレイに触れると傷の発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。
- ポケットやかばんなどに入れる際は、必ずテレビアンテナを格納してください。また、テレビアンテナを故意に強く引っ張ったり曲げたりしないでください。傷や破損の原因となります。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。

■ タッチパネルについて

- タッチ操作は1本の指(ピンチ操作の場合のみ2本の指)で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いものや爪や金属などの硬いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイの損傷や、破損の原因になる場合があります。

● ディスプレイにシールやシート類(市販の保護シートや覗き見防止シートなど)を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。

● 爪の先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などが原因となる場合があります。

● タッチパネルを強く押しすぎたり、濡れた指や汗で湿った指での操作、ディスプレイに水滴が付着または結露している状態では操作しないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。

● ディスプレイ表面が汚れていたり、ほこりなどが付着していると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合がありますので、ご注意ください。

■ 電池パックについて

● 接続端子を綿棒や先の細いもので触らないようにしてください。接続端子は溝形状の金属パネルになっているため、端子金属以外のものが挿入されると変形して正常に使用できなくなることがあります。

● 夏期、閉めきった自動車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下しご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。

● 長期間使用しない場合には、IS13SH本体から外し、ビニール袋などに入れて高温多湿を避けて保管してください。

● 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で利用できる時間が、次第に短くなります。目安として、十分充電しても使用できる時間が購入時の半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

● 不要な電池パックは普通のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要になった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。

● お買い上げ時には、十分に充電されていない場合もあります。初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。(充電中、電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありません。)

● 電池パックはご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

● ご使用にならないときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライターソケットから外してください。

● 指定の充電用機器(別売)の電源コードを電源プラグに巻き付けしないでください。感電・発火・火災の原因となります。

■ カメラ機能について

● カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえでご使用ください。

● IS13SHの故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データ(以下「データ」といいます。)が変化または消失することがあり、この場合当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。

● 他人の容貌などをみだりに撮影・公表することは、その人の肖像権の侵害となるおそれがありますので、ご注意ください。

● 大切な撮影(結婚式など)をするときは、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、また聞き取りやすく録音されているかをご確認ください。

● 撮影が許可されていない場所や書店などで情報の記録を行うことはおやめください。

● 撮影時にレンズやモバイルライトに指がかからないようにご注意ください。

● カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 著作権／肖像権について

● お客様がIS13SHで撮影・録音したものを複製・改変・編集などをする行為は、個人で楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

● 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の対象となっている画像を転送することはできません。

● 撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 音楽／テレビ(ワンセグ)機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽やテレビ(ワンセグ)などを視聴しないでください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られるため、交通事故の原因となります。(運転中の携帯電話の使用は、罰則の対象となります。)また、歩行中でも周囲の交通に十分注意してください。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホン(市販品)からの音漏れにご注意ください。

■ au ICカードについて

- au ICカードは、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。また、解約などを行って不要になったau ICカードはauショップもしくはPiPitまでお持ちください。
- au ICカードの取り付け、取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- au ICカードの取り付け、取り外しでは、IC(金属)部分に触れないようにご注意ください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードのIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れには乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- au ICカードにシール・ラベルなどを貼り付けしないでください。
- au ICカード以外のカードを本製品に挿入しないでください。au ICカード以外のカードを本製品に挿入して使用することはできません。
- 使用中、au ICカードが温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。

防水のご注意

■ IS13SHの防水性能

IS13SHは、防水保護等級 (JIS C 0920) IPX5相当、IPX7相当の防水性能を有しています (当社試験方法による)。

- ・水周りでIS13SHをご使用になる際は、以下の記載内容をよくお読みになったうえでご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂などの異物の混入により、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となります。
- ・IS13SHは、外部接続端子カバーや電池パックカバーをきちんと閉じた状態で防水性能を保ちます。接触面に細かいゴミ (髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など) が挟まると、浸水の原因となりますのでご注意ください。
- ・IS13SHの防水性能は、常温 (5℃～35℃) の真水・水道水にのみ対応しています。
- ・すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。

■ IPX5 / IPX7について

- ・「IPX5相当」とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル/分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。
- ・「IPX7相当」とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽にIS13SHを静かに沈め、約30分間水底に放置しても、IS13SH内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

- ・具体的には…
雨の中 (1時間あたり20mm未満の雨量) で傘をささずに濡れた手で持って使用することができます。
風呂場や洗面所、台所、プールサイドなど、水がある場所でもIS13SHをご使用になれます。
弱めの水流 (6リットル/分以下) で常温 (5℃～35℃) の水道水を使ってIS13SHを洗うことができます。

■ 防水 (水周りでのご使用) に関するご注意

- ・外部接続端子カバーや電池パックカバーが浮いていることのないように、確実に閉じてください。電池パックカバーの閉じかたについては、「電池パックを取り付ける」 (▶P.35) の操作  をご参照ください。
- ・IS13SHに次のような液体をかけたり、つけたりしないでください。
また、砂や泥が付着しないようにしてください。
・石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水 / 海水 / プールの水 / 温泉、熱湯など
- ・手やIS13SHが濡れているときに、外部接続端子カバーや電池パックカバーの開閉は絶対にしないでください。
- ・湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください。(キー操作を含む)
- ・耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い水流 (6リットル/分を超える) をかけないでください。
- ・風呂場など湿気の多い場所には、長時間放置しないでください。また、風呂場で長時間使用しないでください。
- ・サウナでは使用しないでください。また、ドライヤーなどの熱風はあてないでください。
- ・コンロの脇や冷蔵庫の中など極端に高温・低温になるところに置かないでください。
- ・送話口、受話口、スピーカー一部の穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなることがあります。十分に水抜きと乾燥を行ったうえでご使用ください。

- 電池パックや指定の充電用機器(別売)などの周辺機器は防水性能を有しておりません。
- 落下させるなど、IS13SH本体に強い衝撃を与えたり、送話口、受話口、スピーカー、イヤホン端子などを綿棒やとがったものでつつかないでください。IS13SH本体が変形して防水性能が損なわれることがあります。
- 砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。送話口、受話口、スピーカー、イヤホン端子などに砂が入り、音量が小さくなったり、発熱による故障の原因となるおそれがあります。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへはIS13SHが常温になってから持ち込んでください。万一結露が発生したときは、結露が取れるまで常温で放置してください。
- IS13SHは水に浮きません。
- 強い雨の中では使用しないでください。
- 外部接続端子カバーや電池パックカバーに劣化、破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、お近くのauショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

■ 防水パッキンについて

- 外部接続端子カバーや電池パックカバーの防水パッキンは、防水性能を維持するための重要な部品です。次のことにご注意ください。
- はがしたり、傷つけたりしないでください。
 - 外部接続端子カバーや電池パックカバーを閉めるときは、防水パッキンを挟まないように注意してください。防水パッキンが傷つき、浸水の原因となることがあります。また、細かいゴミ(髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など)を挟まないように注意してください。浸水の原因となることがあります。
 - 水以外の液体(海水、プールの水、アルコールなど)が付着しないようにご注意ください。防水性能を維持できなくなる場合があります。
 - 外部接続端子カバーや電池パックカバーの隙間に、先の細いものを差し込まないでください。IS13SH本体が破損・変形したり、防水パッキンが傷つくなどして、浸水の原因となることがあります。

- 防水性能を維持するため、防水パッキンは異常の有無に関わらず、2年ごとに交換することをおすすめします。
- 防水パッキンの交換については、お近くのauショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
- 外部接続端子カバーに劣化、破損があるときは、防水性能を維持できません。このときは、お近くのauショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
- 電池パックカバーが破損したときは、電池パックカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。

■ IS13SHの洗いかた

- IS13SHの表面に汚れ、ホコリ、砂などが付着したときは、やや弱めの水流(6リットル/分以下)で常温(5℃~35℃)の水道水を使い、蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。外部接続端子カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください。
- 外部接続端子カバーや電池パックカバーが、きちんと閉まっていることを確認してから洗ってください。
 - 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
 - 乾燥のために電子レンジには絶対に入れないでください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、IS13SHの発熱・発火、回路部品の破損の原因となります。
 - 乾燥のためにドライヤーの熱風をあてたり、高温環境に放置しないでください。IS13SHの変形、変色、故障などの原因となります。

■ 水抜きのしかた

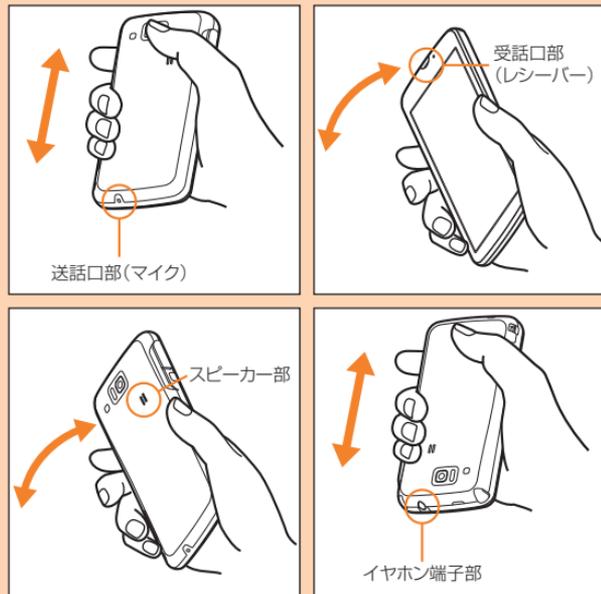
IS13SHを水に濡らした場合、そのままご利用になると通話不良となったり、衣服やカバンなどを濡らしてしまうおそれがあります。また、外部接続端子などのショートによる火災・故障の原因となります。必ず次の各部の水抜きを行ってください。

- ・ 送話口部(マイク)
- ・ 受話口部(レシーバー)

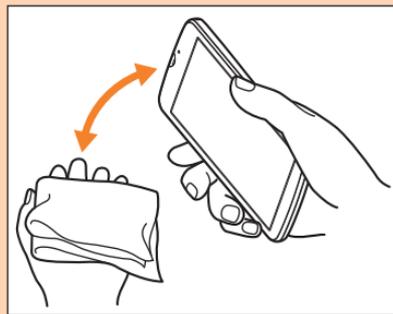
- ・スピーカー部
 - ・イヤホン端子部
- ・IS13SHを振るときは、周囲の安全を確認し、落とさないようにしっかり握ってください。

1 IS13SHの表面の水分を乾いた布などで拭く

2 IS13SHをしっかり持ち、20回程度振る



3 各部の隙間に入った水分を乾いた布などを押し当てて拭く



- ・各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布をあて、軽たたいて水を出してください。

4 乾いた布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置し、乾燥させる

■ 充電時のご注意

- ・指定の充電用機器(別売)は防水性能を有しておりません。屋外や風呂場、洗面所、台所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、風呂場などに持ち込まないでください。
- ・IS13SHが濡れているときは絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- ・IS13SHが濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから外部接続端子カバーを開いてください。
- ・外部接続端子からの浸水を防ぐため、充電後しっかりと外部接続端子カバーを閉じてください。
- ・濡れた手で指定の充電用機器(別売)に触れないでください。感電の原因となります。

ご利用いただく各種暗証番号について

各種暗証番号について

IS13SHをご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

| | |
|-----|---|
| 使用例 | ① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客様センター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合 |
| 初期値 | 申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号 |

● ロックNo.

| | |
|-----|--------------------------|
| 使用例 | 画面ロックや電話帳制限などの設定／解除をする場合 |
| 初期値 | 1234 |

● PINコード

| | |
|-----|--------------------------|
| 使用例 | 第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐ場合 |
| 初期値 | 1234 |

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、IS13SHには次のような機能が用意されています。

- ・フォルダシークレット登録
- ・シークレット設定
- ・おサイフケータイ ロック設定
- ・画面ロック
- ・電話帳制限

PINコードについて

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

■ PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。

- ・お買い上げ時はPINコードの入力が不要な設定になっていますが、ホーム画面→[]→[設定]→[位置情報とセキュリティ]→[UIMカードロック設定]→[UIMカードをロック]で入力が必要な設定に変更できます。
なお、「UIMカードをロック」を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
- ・お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、「UIM PINの変更」でお客様の必要に応じて4～8桁のお好きな番号に変更できます。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- ・PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- ・PINロック解除コードを入力した場合は、ホーム画面→[]→[設定]→[位置情報とセキュリティ]→[UIMカードロック設定]→[UIM PINの変更]で新しくPINコードを設定してください。
- ・PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客様センターまでお問い合わせください。

memo

- PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のためIS13SHが再起動することがあります。
- 「PINコード」は「オールリセット」を行ってもリセットされません。

〈IS13SHの記憶内容の控え作成のお願い〉

- ご自分でIS13SHに登録された内容や、外部からIS13SHに受信・ダウンロードした内容で、重要なものは控え*をお取りください。IS13SHのメモリは、静電気・故障など不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記憶内容が消失したり変化することがあります。

*控え作成の手段

電話帳などの文字情報やダウンロードした辞書は、microSDメモ리카ードにバックアップすることをおすすめします。メール添付を利用してデータを個別にパソコンに転送することもできます。

ただし「著作権が有効なデータ」など、上記の手段でも控えが作成できないものがあります。あらかじめご了承ください。

■お知らせ

- ・本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- ・本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどでお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- ・乱丁、落丁はお取り替えいたします。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い

周波数帯について

IS13SHのBluetooth®機能および無線LAN機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

- Bluetooth®機能:2.4FH1

IS13SH本体は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- 無線LAN機能:2.4DS4/OF4

IS13SH本体は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。

本製品の無線LANで使用できるチャンネルは、1～13です。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth® についてのご願い

- IS13SHのBluetooth®機能は日本国内およびFCC/CE規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国/地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

● Bluetooth®ご使用上の注意

IS13SHのBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

- IS13SHを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、IS13SHと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS13SHの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

無線LAN(Wi-Fi®) についてのご願い

- IS13SHの無線LAN機能は日本国内およびFCC/CE規格に準拠し、認定を取得しています。フランスなど一部の国/地域では無線LAN機能の使用が制限されます。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品、AV・OA機器などの電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障がいの原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数のアクセスポイント(無線LAN親機)が存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

● 無線LANご使用上の注意

IS13SHの無線LAN機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

- IS13SHを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、IS13SHと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS13SHの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- ◎ IS13SHはすべてのBluetooth®、無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®、無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®、無線LANの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®、無線LANによるデータ通信を行う際はご注意ください。
- ◎ 無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときには、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ Bluetooth®、無線LAN通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

海外利用

| | |
|---|------------|
| グローバルパスポートCDMA..... | 260 |
| 海外で安心してご利用いただくために..... | 260 |
| 海外利用に関する設定を行う..... | 260 |
| 渡航先で電話をかける..... | 261 |
| 渡航先で電話を受ける..... | 262 |
| グローバルパスポートGSM..... | 263 |
| GLOBAL PASSPORT GSM(グローバルパスポートGSM) について..... | 263 |

グローバルパスポートCDMA

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。

<http://www.au.kddi.com/service/kokusai/tokomae/>

■ IS13SHを盗難・紛失したら

- 海外でIS13SHを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- IS13SHに挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。(▶P.27「PINコードについて」)

■ 海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料は、各種割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外利用に関する設定を行う

PRL(ローミングエリア情報)を取得する

海外でIS13SHを利用するには、渡航先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。

海外渡航時には、最新のPRLを渡航前に取得してからお使いください。PRL(ローミングエリア情報)とは、KDDI(au)と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。

- 1 ホーム画面→[📶]→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[ローミング設定]→[PRL設定]→[PRLバージョンを更新する]

PRLを取得します。画面の指示に従って、PRLデータをダウンロードしてください。

memo

- ◎ PRLデータをダウンロードする場合には、別途パケット通信料がかかります。
- ◎ 古いPRLデータのまま利用し続けている場合は、海外のエリアによって通信ができなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

エリアを設定する

IS13SHを使用するエリアを設定します。

- 1 ホーム画面→[🌐]→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[ローミング設定]→[エリア設定]

| | | |
|---|-----------|---------------------------------|
| 2 | 日本 | 日本国内でご利用になる場合に設定します。 |
| | ローミング(海外) | 海外でご利用になる場合(PRLに従って自動設定)に設定します。 |

memo

◎「エリア設定」を「ローミング(海外)」に設定すると、滞在国内選択画面が表示される場合があります。滞在国内を選択してください。

データローミングを設定する

ローミング中にパケット通信を利用できるように設定します。

- 1 ホーム画面→[🌐]→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[データローミング]
[OK]を選択すると、データローミングが有効になります。

memo

- ◎データローミングを有効にするには、あらかじめ「エリア設定」を「ローミング(海外)」に設定してください。
- ◎IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料(利用月のみ月額525円)と別途通信料がかかります。

渡航先で電話をかける

渡航先から国外(日本含む)に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

例: 韓国からアメリカの「212-123-XXXX」にかけの場合

- 1 ホーム画面→[🌐]→[電話]
- 2 韓国の国際アクセス番号「002」を入力
「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。
- 3 アメリカの国番号「1」を入力
- 4 市外局番「212」を入力
市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります)。
- 5 相手の方の電話番号「123XXXX」を入力→[発信]

memo

◎電話をかける相手の方がグローバルパスポート利用者の場合は、相手の方の渡航先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力してください。

渡航先の国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の方の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面→[📞]→[電話]

2 電話番号を入力

渡航先によって操作が異なります。

| 渡航先 | 番号 |
|---|---------------------|
| アメリカ本土、ハワイ、サイパン | [1]+市外局番+相手の方の電話番号 |
| ニュージーランド、韓国、中国、香港、マカオ、タイ、台湾、インドネシア、ベトナム、イスラエル、インド、パミューダ諸島、バングラデシュ、パハマ、ベネズエラ | 市外局番+相手の方の電話番号 |
| メキシコ(市内通話) | 相手の方の電話番号 |
| メキシコ(市外通話) | [01]+市外局番+相手の方の電話番号 |

3 [発信]

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

memo

◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合

渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」(日本)をダイヤルしてもらう必要があります。

例: アメリカから日本国内のau電話「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

1 アメリカの国際アクセス番号「011」を入力

2 日本の国番号「81」を入力

3 最初の「0」を省略したau電話の電話番号「901234XXXX」を入力→[発信]

グローバルパスポートGSM

GLOBAL PASSPORT GSM(グローバルパスポートGSM)について

グローバルパスポートGSMとは、au ICカードを海外用GSM携帯電話に差し替えてご利用いただく国際ローミングサービスです。いつもの電話番号のまま世界のネットワークで話せます。

- ・特別な申し込み手続きや月額・月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、GSM携帯電話、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページもしくは、お客さまセンターにてご確認ください。

IS13SHはグローバルパスポートCDMAにも対応しています。

(▶P.261「渡航先から国外(日本含む)に電話をかける」)グローバルパスポートGSMとグローバルパスポートCDMAの対応エリアについては、auホームページもしくはお客さまセンターにてご確認ください。

memo

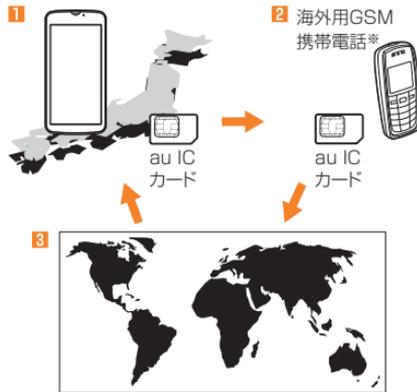
- ◎ GSMとは、Global System for Mobile Communicationsの略。デジタル携帯電話に使われている無線通信方式の1つで、欧州、アメリカ、アジア、オセアニア、アフリカなど、世界で幅広く利用されている方式です。日本で使われているCDMAやPDCなどとの適合はしていません。
- ◎ 国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

■ 海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートGSMをご利用になるときは、IS13SHからau ICカードを取り外し、海外用GSM携帯電話の取扱説明書に従い、取り付けてください。

- 1 国内では、au ICカード対応au電話としてご利用になれます。
- 2 au ICカードを海外用GSM携帯電話に差し替えます。
- 3 世界のGSMネットワークでいつもの番号で話せます。
- 4 帰国したら「au ICカード」をいつものau電話へ戻します。

★国内モードへの変更などの手続きは不要です。



※ここでのGSM携帯電話は、海外利用シーンのみを想定しています。

memo

- ◎ 設定方法はGSM携帯電話のメーカーおよび機種により異なりますので、その取扱説明書をご確認ください。なお、渡航前に設定の確認をされることをおすすめします。
- ◎ auホームページに記載されているGSM携帯電話以外での本サービスの利用可否、au ICカードの故障、破損などにより、万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましてはKDDI(株)、沖縄セルラー電話(株)では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ◎ IS13SHの「UIMカードロック設定」でお客様がPINコード入力に必要な設定をしている場合、GSM携帯電話でも同様の入力が必要になります。
- ◎ 新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。
- ◎ 海外旅行の際はauホームページに記載されている「海外からのお問い合わせ番号」をご確認いただき、渡航前にお控えください。携帯電話もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、速やかにお問い合わせ先までご連絡いただき、通話停止の手続きをお取りください。
- ◎ グローバルパスポートGSMは、ぶりペイド専用契約の方はご利用になれません。
- ◎ au ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。(▶P.27「PINコードについて」)

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【IS13SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。

この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.460W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもあります。いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック(O105FCA)(別売)を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します^(※2)。

KDDI推奨のauキャリングケースFブラック(O105FCA)(別売)をご使用にならない場合には、身体から1.5cm以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することができるハンズフリー用機器を利用してよいとします。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

(http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm)

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記の各ホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ：
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>
- 一般社団法人電波産業会のホームページ：
<http://www.arib-emf.org/index02.html>
- auのホームページ：
<http://www.au.kddi.com>
- シャープのホームページ：
<http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です(2011年3月現在)。

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」とする）を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」とする）などの音楽関連情報をオンラインサーバー-或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする）から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみを使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合において

も、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

• Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote, Inc. 2010

知的財産権について

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リパース・エンジニアリング・逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



The "RSA Secure" AND "Genuine RSA" logos are trademarks of RSA Data Security, Inc.



「らくらく瞬漢ルーベ®」及び「らくらく瞬英ルーベ®」は株式会社アイエスピーの登録商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標です。

Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。

Microsoft®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporationの登録商標または商標です。

Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Player テクノロジーを搭載しています。

Adobe Flash Player. Copyright © 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe、FlashおよびFlash ロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。再生するコンテンツによってはFlash Playerの最新版が必要になる場合があります。

Flash Playerを使用する際には、以下の事項をお守りください。(i)ソフトウェアを複製、頒布しないこと。(ii)ソフトウェアを改変したり、派生物を作成しないこと。(iii)ソフトウェアを逆コンパイル、リパースエンジニアリング、逆アセンブル、その他ソースコードの解析をしないこと。(iv)ソフトウェアの権利に関する表明をしないこと。(v)ソフトウェアの使用によって被った間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰的損害、結果的損害等を含む一切の損害の賠償を請求しないこと。



Copyright 2010 Google Inc. 使用許可取得済

Android および Android ロゴ、YouTube および YouTube ロゴ、Google および Google ロゴ、Google マップ、Gmail および Gmail ロゴ、Google トーク、Google 音声検索 および Google 音声検索 ロゴ、Picasa および Picasa ロゴ、Android マーケット および Android マーケット ロゴ、Google Latitudeは、Google Inc.の登録商標または商標です。

DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Alliance の商標です。

DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

本機のDLNAの認定はシャープ株式会社が取得しました。

IrSimple™およびIrSS™は、Infrared Data Association®の商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。



「着うた®」「着うたフル®」「着うたフルプラス®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。

㊟ は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。



音楽認識テクノロジーおよび関連データはGracenote®によって提供されます。Gracenoteは音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。

詳細については、www.gracenote.comをご覧ください。

Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ：

copyright © 2000 to present Gracenote. Gracenote Software,

copyright © 2000 to present Gracenote.

本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。

Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは、米国および／またはその他の国におけるGracenoteの登録商標または商標です。



「パールビュー」「ベストセレクトフォト」「チェイスフォーカス」「笑顔フォーカスシャッター」「振り向きシャッター」「AQUOS」「AQUOS PHONE」「エコ技」マークおよび「エコ技」「ワンタッチシャッター」「アニメビュー」「GALAPAGOS」「GALAPAGOS SQUARE」「ASV」「LCフォント」「LCFONT」およびLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標または商標です。



QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

Bluetooth®は、その商標権者が所有しており、シャープ株式会社はライセンスに基づき使用しています。



ドキュメントビューアはDataViz社のDocuments To Goを搭載しております。

© 2010 DataViz, Inc. and its licensors. All rights reserved.

DataViz, Documents To Go and InTact Technology are trademarks or registered trademarks of DataViz, Inc.

Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。



Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Alliance®の商標です。

The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.



「mixi」は株式会社ミクシィの登録商標です。

「Twitter」はTwitter, Inc.の登録商標です。

FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。

「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。

Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。

「GREE」は、日本で登録されたGREE株式会社の登録商標または商標です。

FrameSolid®、PhotoScouter®、TrackSolid®は株式会社モルフォの登録商標または商標です。

MyScript® Stylus Mobileは、ビジョン・オブジェクトS.A.(ビジョンオブジェクト)の商標です。

MyScript® Stylus Mobile is a trademark of VISION OBJECTS.

CP8 PATENT

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA. See <http://www.mpegla.com>. This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC. See <http://www.mpegla.com> for additional details.

本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、及び/又は(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、及び/又はAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。更に詳しい情報については、MPEG LA,LLCから入手できる可能性があります。

<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限り)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA,LLCから入手できる可能性があります。

<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

コンテンツ所有者は、Microsoft PlayReady™コンテンツアクセス技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用してPlayReady保護コンテンツおよびWM DRM保護コンテンツにアクセスします。本製品がコンテンツの使用を適切に規制できない場合、PlayReady保護コンテンツを使用するために必要な本製品の機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツや他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツが影響を受けることはありません。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、PlayReadyのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。

iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2011 All Rights Reserved.

iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2011 All Rights Reserved.

Powered by emblend Copyright 2009-2010 Aplix Corporation. All rights reserved.

emblendは、日本における株式会社アプリックスの製品名です。

本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ R、丸フォーク M、はせトッポ Rを搭載しています。

「モリサワ」「新ゴ」「丸フォーク」「はせトッポ」は、株式会社モリサワの登録商標です。Portions Copyright ©2004 Intel Corporation

TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。



Copyright (C) 2010-2011 Three Laws of Mobility. All Rights Reserved.

その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

OpenSSL License

[OpenSSL License]

Copyright © 1998-2009 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

[Original SSLeay License]

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Safety Information

CE Declaration of Conformity



In some countries/regions, such as France, there are restrictions on the use of Wi-Fi®. If you intend to use Wi-Fi® on the handset abroad, check the local laws and regulations beforehand.

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this IS13SH is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

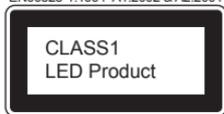
A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
<http://www.sharp.co.jp/k-tai/>

■ Mobile Light

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.

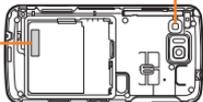
Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

EN60825-1:1994 A1:2002 & A2:2001



Mobile light

CAUTION-CLASS 1M
LED RADIATION WHEN OPEN
DO NOT VIEW DIRECTLY WITH
OPTICAL INSTRUMENTS



CAUTION:

Use of controls, adjustments or performance of procedure other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure. As the emission level from Mobile light LED used in this product is harmful to the eyes, do not attempt to disassemble the cabinet. Servicing is limited to qualified servicing station only.

Mobile light source LED characteristics

- Continuous illumination
- Wavelength
White: 400-700 nm
- Maximum output
White: 910 μ W (inside cell phone 1.57 mW)

AC Adapter

Any AC adapter used with this handset must be suitably approved with a 5Vdc SELV output which meets limited power source requirements as specified in EN/IEC 60950-1 clause 2.5.

Battery - CAUTION

Use specified battery or Charger only.

Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse; always tape over battery terminals before disposal. Take battery to an au Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

Loudness warning

Excessive sound pressure from earphones and headphones can cause hearing loss.

Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 56 mV.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was $\blacklozenge\blacklozenge$ W/kg^{**}.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network. The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

** The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.

Highest SAR value:

| | |
|-------------|-------------|
| Model | CDMA SHI13 |
| FCC ID | APYHRO00158 |
| At the Ear | 0.357W/Kg |
| On the Body | 0.120W/Kg |

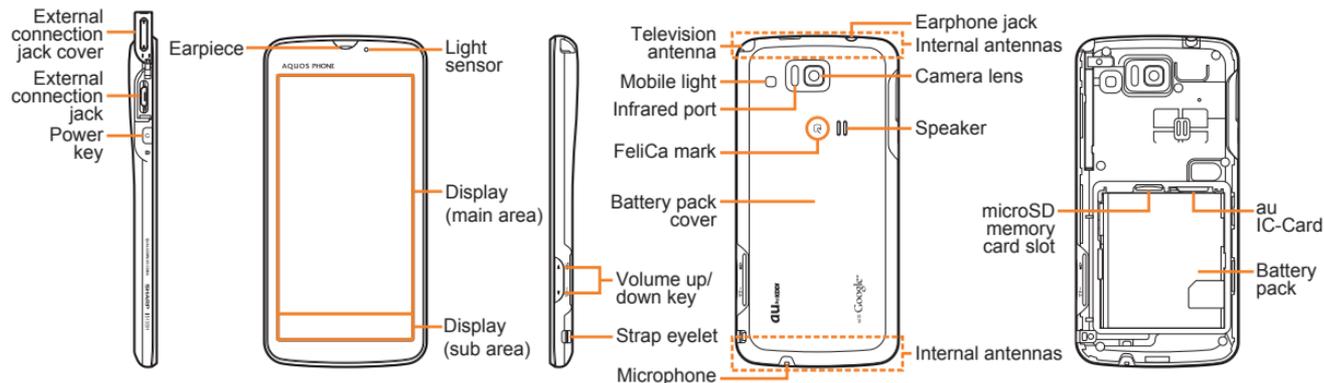
This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at <http://www.fcc.gov/oet/fccid/> under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA)

Website at <http://www.phonefacts.net>.



Turning Power On and Off

● Turning Power On

Hold down  for at least two seconds.

● Turning Power Off

Hold down  for at least two seconds.

▶ Tap [Power off]. ▶ Tap [OK].

Switching the Screen to English

On the home screen: Tap []. ▶ Tap [設定].

▶ Tap [言語とキーボード]. ▶ Tap [言語(Language)を選択].

▶ Tap [English].

Checking Your Own Phone Number and Mail Address

On the home screen: Tap []. ▶ Tap [Settings]. ▶ Tap [Profile].

Making and Answering a Call

● Making a Call

On the home screen: Tap [📞]. ▶ Tap [Phone].

▶ Enter the phone number you want to call. ▶ Tap [Call].

To end a call: Slide [🔍] in the left direction.

● Answering a Call

When the phone starts ringing, slide [🔍] in the right direction.

When the phone starts ringing, tap [Answer] while the backlight illuminates (except when the unlock screen is displayed).

To adjust the earpiece volume during a call: Press [🔊/🔇].

Storing and Recalling Address Book Entries

● Storing an Entry

On the home screen: Tap [📞]. ▶ Tap [Address Book].

▶ Tap [📄]. ▶ Tap [Add new entry].

▶ Select the item you want to edit. ▶ Tap [Save]. ▶ Tap [Yes].

● Recalling an Entry

On the home screen: Tap [📞]. ▶ Tap [Address Book].

▶ Select the record you want to recall.

Using the Camera (Movie and Snapshot)

● Recording a Movie Clip

On the home screen: Tap [📞]. ▶ Tap [Video Camera].

▶ Tap [📹] to start recording. ▶ Tap [🛑] to stop recording.

● Taking a Snapshot

On the home screen: Tap [📞]. ▶ Tap [Camera].

▶ Tap [📷] to take a snapshot.

Making an International Call

Ex: To call 212-123-XXXX in the USA

On the home screen: Tap [📞]. ▶ Tap [Phone].

[0] [0] [1] [0] [1] [0] or [0] [1] [0] ▶ [1] ▶ [2] [1] [2]
International access code | Area code
Country code (USA)

▶ [1] [2] [3] ▶ △△△△ ▶ Tap [Call].

Number you want to call

Other Handy Features

● Setting the Manner Mode

Hold down [🔇] for at least two seconds.

▶ Tap [Manner mode].

Repeat the above operation to disable the Manner Mode.

● Setting the Answer Memo (Voice Recording)

On the home screen: Tap [📞]. ▶ Tap [Settings].

▶ Tap [Call settings]. ▶ Tap [Call/Ans Memo].

▶ Tap [Answering memo setting]. ▶ Tap [ON].

For inquiries, call: Customer Service Center

For general information

● If you are calling from a landline phone: ☎️ 0077-7-111 (toll free)

● If you are calling from an au mobile phone: 157 (toll free)

For repairs, loss or theft

● If you are calling from a landline phone: ☎️ 0077-7-113 (toll free)

● If you are calling from an au mobile phone: 113 (toll free)